

MS/IS シリーズ エリアイメージャ 補足パラメータ設定ガイド

(MS/IS シリーズ シングルライセンスのパラメータ設定ガイドを併用ください)

対応機種

MS1633

MS1690

MS1691

MS4980

MS7580

IS4920

:

:

etc.

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2009/09/01 (初版)
Rev.1.1	2009/11/16
	P.17, P.18, P.21, P.27, P.28 修正 P.33 ASCIIコード表(10進数表記)を追加

1.

本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

2.

本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。

3.

本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

4.

本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。

5.

運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

保証期間は、機種により異なりますが、ご購入日から 1 年~5 年が設定されています。ご購入いただいた機種の保証期間については、WEB サイト又は販売店にてご確認ください。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起ることがあります。



「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。





■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。
故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。
装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。
また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



INDEX

1. はじめに	9
2. トリガモードとフリーズセッションモード	10
2.1. スタート設置有りのトリガモード/フリーズセッションモード	10
2.2. スタート設置無しのトリガモード/フリーズセッションモード	10
2.3. その他オプション	11
3. フロントパネル読み取りとリア読み取り	12
3.1. フロントパネル読み取り専用	12
3.2. リア読み取り専用	13
3.3. フロントパネル/リア読み取り両方用	14
4. イミッジとイルミネーション	15
4.1. トリガ動作時のイミッジ	15
4.2. フリーズセッション動作時のイミッジ	15
4.3. イルミネーションオプション	15
5. データ出力	16
6. キャラクタ削除	17
6.1. 削除キャラクタ 1	17
6.2. 削除キャラクタ 2	18
7. 同一コード読み取りタイムアウトのリセットタイミング	19
8. LED インジケータオプション (MS7580 専用)	20
9. Bluetooth リアイメージャ (MS1633 専用)	21
9.1. パワーセーブモード (MS1633 専用)	21
9.2. 通信圏外リポート (RangeGate®) (MS1633 専用)	21
9.3. Bluetooth ファームウェア & アドレス (MS1633 専用)	21
9.4. パッチモード (MS1633 専用)	22
10. 2次元コード	25
10.1. データマトリクス	25
10.2. QRコード	26
10.3. マキシコード	26
10.4. Aztecコード	27
10.5. 郵便コード	27
10.6. Codablock	29
10.7. PDF	29
11. RS232C インターフェイス	30
11.1. ソフトウェア	30
11.2. 多機能 USB/IBM® インターフェイス	30
12. その他インターフェイス	31
12.1. IBM46xx-SIOC RS485 インターフェイス	31
12.2. IBM-OEM USB インターフェイス	31
12.3. フルスピード USB キーボード インターフェイス	31
12.4. その他インターフェイスオプション	31
13. MS7580 Genesis 専用マウント	32
補足 A サンプルコード	34
修理依頼書	35

1. はじめに

この度は、弊社 MS/IS シリーズ Iリアイメ-ジ ャ(以下、Iリアイメ-ジ ャ)をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、Iリアイメ-ジ ャのパラメータ設定を行うために用意された別冊補足ガイドです。基本的設定については、シングルライセンス
Iリアイメ-ジ ャパラメータ設定ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドを読み取ることで、Iリアイメ-ジ ャのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。
設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。





2. トリガモードとフリーズセッションモード

2.1. スタンド設置有りのトリガモード/フリーズセッションモード

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 4 2 0 2 0 4	フリーズセッションモード	■
 4 2 0 2 2 4	マルチトレイ・トリガモード	
 4 2 0 2 5 4	コンティニアス・トリガモード	
 4 2 0 2 4 4	シングル・トリガモード	

※ 一部の機種は、スタンド設置有り・無しの独立した設定に対応していません。

2.2. スタンド設置無しのトリガモード/フリーズセッションモード

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 4 1 8 3 0 4	フリーズセッションモード	■ MS1690 MS1890 MS1633
 4 1 8 3 2 4	マルチトレイ・トリガモード	□ IS1650
 4 1 8 3 5 4	コンティニアス・トリガモード	
 4 1 8 3 4 4	シングル・トリガモード	
 4 2 0 2 1 5 4	スタンド設置無しの設定をスタンド設置有りにも適用	

※ 一部の機種は、スタンド設置有り・無しの独立した設定に対応していません。

2.3. その他オプション

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 8 2 3 8 0 0	<u>MS7580 専用</u> トリガボタンを離すと直ちに、フリーズモードへ復帰	■
 8 2 3 8 2 0	<u>MS7580 専用</u> トリガボタンを離して 1 秒後に、フリーズモードへ復帰	
 8 2 3 8 1 0 0	<u>MS7580 専用</u> トリガボタンを離して 5 秒後に、フリーズモードへ復帰	
 1 2 4 4 0 3	<u>IS1650/MS1890/MS1633/MS1690 など</u> <u>Focus® シリーズ 専用</u> フリーズモードでのトリガボタン押下タイムアウト(約 8 秒) 有り	■
 1 2 4 4 1 3	<u>IS1650/MS1890/MS1633/MS1690 など</u> <u>Focus® シリーズ 専用</u> フリーズモードでのトリガボタン押下タイムアウト無し	
 1 2 7 0 1 5	<u>MS7580 専用</u> フリーズモードでのハスル読み取り 有り	■
 1 2 7 0 0 5	<u>MS7580 専用</u> フリーズモードでのハスル読み取り 無し	
 8 4 3 9 3 0 0	<u>MS7580 専用</u> ハスルタイムアウト 100 ミリ秒	
 8 4 3 9 1 0 0	<u>MS7580 専用</u> ハスルタイムアウト 300 ミリ秒	

※ ハスルとは、エリアイメージャの読取エリアに目的のコードを通過させるだけで読み取りを行う機能です。

※ ハスルは、ACアダプタ接続時のみ有効となります。USB 接続など PC 受電時は、無効になります。

3. おムデ ィルクツヨソ読み取りとリニア読み取り

Iリアイメーザは、おムデ ィルクツヨソ読み取り専用、リニア読み取り専用、又はその両方用に設定することができ、トリガ 動作とプレゼ ンテーション動作それぞれ個別に設定が行えます。

※ MS1690 など、一部のIリアイメーザのみ対応しています。

3.1. おムデ ィルクツヨソ読み取り専用

1 次元バ ーコード 及び 2 次元コード の両方を全方向で読み取ることができます。但し、設定用のマツドバ ーコード (コード 128) は例外で、リニア読み取りをする必要があります。

トリガ 動作時の設定手順

下記のマツドバ ーコード を上から順番に読み取ってください。



プレゼ ンテーション動作時の設定手順

下記のマツドバ ーコード を上から順番に読み取ってください。



※ Focus® シリーズ は、トリガ 動作時/プレゼ ンテーション動作時共に「① おムデ ィルクツヨソ読み取り専用」がデ ィフォルトになり、MS7580 は、プレゼ ンテーション動作時とパ ススル動作時が「① おムデ ィルクツヨソ読み取り専用」、トリガ 動作時が「③ おムデ ィルクツヨソ/リニア読み取り 両方用」がデ ィフォルトになります。

3.2. リニア読取専用

リニアイメージャとして動作し、1次元バーコードのリニア読み取りだけに対応します。1次元バーコードの全方向読み取りや2次元コード読み取りは行えません。

トリガ動作時の設定手順

下記のマストバーコードを上から順番に読み取ってください。



プレゼンテーション動作時の設定手順

下記のマストバーコードを上から順番に読み取ってください。



※ Focus® シリーズ は、トリガ動作時/プレゼンテーション動作時共に「① オムニディレクション読取専用」がデフォルトになり、MS7580 は、プレゼンテーション動作時とパスル動作時が「① オムニディレクション読取専用」、トリガ動作時が「③ オムニディレクション/リニア読取両方用」がデフォルトになります。

3.3. オムニディレクショナルリニア読取両方用

1次元バーコードを読み取る場合は、リニアイメージャ(リニア読み取り)として動作し、2次元コードを読み取る場合は、リニアイメージャ(全方向読み取り)として動作します。

トリガ動作時の設定手順

下記のマストバーコードを上から順番に読み取ってください。



フレイクステーション動作時の設定手順



下記のマストバーコードを上から順番に読み取ってください。





※ Focus® シリーズ は、トリガ動作時/フレイクステーション動作時共に「① オムニディレクショナル読取専用」がデフォルトになり、MS7580 は、フレイクステーション動作時とパスル動作時が「① オムニディレクショナル読取専用」、トリガ動作時が「③ オムニディレクショナルリニア読取両方用」がデフォルトになります。

4. イミング とイルミネーション

4.1. トリガ 動作時のイミング

コマンド バージョン	説明	デフォルト
 1 2 4 0 0 0	イミング 有り	■
 1 2 4 0 1 0	イミング 無し	

4.2. フレッシュン動作時のイミング



コマンド バージョン	説明	デフォルト
 1 2 4 0 1 1	イミング 有り	■ MS1690 MS1890 MS1633
 1 2 4 0 0 1	イミング 無し	□ MS4980 MS7580

4.3. イルミネーションオフ ション

コマンド バージョン	説明	デフォルト
 1 2 5 4 0 1	FirstFlash [®] 有り ¹	■
 1 2 5 4 1 1	FirstFlash [®] 無し	
 1 2 5 1 0 1	オートゲイン(自動調整) 有り	■
 1 2 5 1 1 1	オートゲイン(自動調整) 無し	
 1 2 4 0 0 2	イルミネーション グループ 1 適用 有り	■
 1 2 4 0 1 2	イルミネーション グループ 1 適用 無し	
 1 2 4 0 0 3	<u>IS1650/MS1890/MS1633/MS1690 など</u> <u>Focus[®] シリーズ 専用</u> イルミネーション グループ 2 適用有り	■
 1 2 4 0 1 3	<u>IS1650/MS1890/MS1633/MS1690 など</u> <u>Focus[®] シリーズ 専用</u> イルミネーション グループ 2 適用無し	

¹ FirstFlash は、最初のイルミネーション LED フラッシュによるコード認識率を高める独自の高度な最適化技術です。通常は、「有り」でご使用ください。

5. データ出力

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 1 2 0 5	データ出力 有り	■
 1 2 1 2 1 5	データ出力 無し	

※ データ出力無しに設定すると、コードを読み取ってもデータは出力されません。通常は、設定しないでください。

6. キャラクタ削除

6.1. 削除キャラクタ 1

設定開始


9 9 9 9 9 9

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 1 5 1 1 1	削除キャラクタ 1 を削除する 下記の順にコマンドバーコード をスキャンします。 「設定開始」→「削除キャラクタ 1 を削除する」→「削除キャラクタ 1」 ↓ 数値バーコード で ASCII コード (10 進数) 3 桁をスキャン 例) 0 = 048, @ = 064 (補足 A ASCII コード 表を参照) ↓ 「設定終了」	
 1 1 5 1 0 1	削除キャラクタ 1 を削除しない	■
 9 1 5 2 0 0	削除キャラクタ 1	

数値バーコード

 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9

設定終了


9 9 9 9 9 9



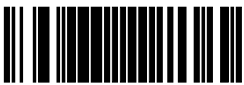
※ 削除キャラクタ 1, 2 の両方を削除したい場合は、「6.1. 削除キャラクタ 1」と「6.2. 削除キャラクタ 2」の両方を設定してください。

6.2. 削除キャラクタ 2

設定開始



9 9 9 9 9 9

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 <p>1 1 5 1 1 2</p>	<p>削除キャラクタ 2 を削除する 下記の順にコマンドバーコードをスキャンします。</p> <p>「設定開始」→「削除キャラクタ 2 を削除する」→「削除キャラクタ 2」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="color: red;">数値バーコードで ASCII コード (10 進数) 3 桁をスキャン 例) 0 = 048, @ = 064 (補足 A ASCII コード表を参照)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「設定終了」</p>	
 <p>1 1 5 1 0 2</p>	削除キャラクタ 2 を削除しない	■
 <p>9 1 5 3 0 0</p>	削除キャラクタ 2	

数値バーコード	
 <p>0</p>	 <p>1</p>
 <p>2</p>	 <p>3</p>
 <p>4</p>	 <p>5</p>
 <p>6</p>	 <p>7</p>
 <p>8</p>	 <p>9</p>



設定終了



9 9 9 9 9 9

※ 削除キャラクタ 1, 2 の両方を削除したい場合は、「6.1. 削除キャラクタ 1」と「6.2. 削除キャラクタ 2」の両方を設定してください。

7. 同一コード 読み取りタイムアウトのリセットタイミング





コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 0 0 1 3	トリガ を引いてもリセットしない	
 1 2 0 0 0 3	トリガ を引くとリセット (リスタート) する	■

8. LED インジケータフュン (MS7580 専用)

コマンドバークォド	説明	デフォルト
 1 4 3 1 0 0	青色 LED 標準輝度	■
 1 4 3 1 1 0	青色 LED 低輝度	
 1 4 3 1 0 2	白色 LED 標準輝度	■
 1 4 3 1 1 2	白色 LED 低輝度	






9. Bluetooth リアイメージャ (MS1633 専用)

9.1. パワーセーブモード (MS1633 専用)

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 5 3 1 5	トリガパワーセーブモード オン トリガを引いた状態で 10 秒経過すると、パワーセーブモードに移行します。	
 1 2 5 3 0 5	トリガパワーセーブモード オフ	■
 1 2 5 3 1 4	紙面検知 (IR) パワーセーブモード オン 紙面検知 (IR) 動作で 5 回コードの読み取りに失敗すると、パワーセーブモードに移行します。	■
 1 2 5 3 0 4	IR パワーセーブモード オフ	



※ MS1690/MS1890/IS1650 は、パワーセーブモードに対応していません。

9.2. 通信圏外メモリーモード (RangeGate®) (MS1633 専用)

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 3 7 0 7	通信圏外メモリーモード オン 通信圏外で読まれたデータを不揮発性メモリーに保存し、通信圏内に復帰した後、その保存データを送信します。	
 1 2 3 7 1 7	通信圏外メモリーモード オフ	■
 8 2 6 1 2 0 0 0	データ間送信間隔 1 秒	
 8 2 6 1 1 0 0 0	データ間送信間隔 500 ミリ秒	
 8 2 6 1 0 0 0 0	データ間送信間隔 5 無し	





※ 通信圏外メモリーモードとバッフェードは、併用できません。両方を「使う」に設定した場合は、バッフェードが有効になります。

9.3. Bluetooth ファームウェア & プトリス (MS1633 専用)

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 9 9 8 0 4 4	Bluetooth ファームウェアバージョンを送信する	
 9 9 8 0 4 5	Bluetooth プトリスを送信する	

9.4. バッフェード (MS1633 専用)

バッフェードでは、読み取ったデータは、ホストへは送信せず、エリアイメージャの不揮発メモリに数量フィールドと対応で1レコードとして保存されます。バーコードを読み取ると、自動的に数量が1にセットされ、その読取データと一緒にメモリに保存されます。数量フィールドの値を変更したい場合は、次頁の数量バーコードを読み取ります。バッフェードでは、保存されたレコードは自動的に送信されないため、「全保存レコード送信」コマンドバーコードを読み取る必要があります。保存されている数量フィールドを送信する必要がない場合は、「数量フィールド送信 無し」に設定してください。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 3 9 1 0	バッフェード オン	
 1 2 3 9 0 0	バッフェード オフ	
 1 2 3 9 1 5	数量フィールド送信 有り	
 1 2 3 9 0 5	数量フィールド送信 無し	■

※ 通信圏外メモリとバッフェードは、併用できません。両方を「オン」に設定した場合は、バッフェードが有効になります。

下記の「数量バーコード」を使って、最後に読み取ったデータの数量を入力することができます。「数量フィールド 送信 無し」に設定されている場合、読取データは、数量フィールドに設定されている数と同じ回数、バーコードに送信され、「数量フィールド 送信 有り」に設定されている場合は、読取データと数量フィールドに設定されている数字データが 1 バーコードにつき、1 回送信されます。

数量フィールドのデフォルトは 1 で、最大で 9999 まで入力することができます。4 桁を超える数量の場合、数量データは、右から左へシフトします。つまり、5 桁の数字 12345 が読まれると、1 桁目の 1 がシフトし、破棄され、2345 が保存されます。

数量フィールド 入力例 1) 数量を 5 に設定する場合の手順









- 1. 商品などのバーコードを読み取ります。
- 2. 数量バーコードから「数量 5」を読み取ります。

数量フィールド 入力例 2) 数量を 1,500 に設定する場合の手順

- 1. 商品などのバーコードを読み取ります。
- 2. 数量バーコードから「数量 1」を読み取ります。
- 3. 数量バーコードから「数量 5」を読み取ります。
- 4. 数量バーコードから「数量 0」を読み取ります。
- 5. 数量バーコードから「数量 0」を読み取ります。

数量フィールド 入力例 3) 数量 103 を 10 に書き換える場合の手順

- 1. 商品などのバーコードを読み取ります。
- 2. 数量バーコードから「数量 0」を読み取ります。
- 3. 数量バーコードから「数量 0」を読み取ります。
- 4. 数量バーコードから「数量 1」を読み取ります。
- 5. 数量バーコードから「数量 0」を読み取ります。

数値バーコード	
 Q 0	 Q 1
 Q 2	 Q 3
 Q 4	 Q 5
 Q 6	 Q 7
 Q 8	 Q 9




間違った商品コードや間違った数量を入力してしまった場合は、「最終バーコードを削除」を読み取り、バーコードが削除し、再度入力を行ってください。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 3 9 1 4	ロット番号送信 有り 3桁のロット番号を読取データの前に送信します。 送信フォーマット : [ロット番号], [数量フィールド] [読取データ] 例) 001,01234,49112ABC 002,01299,1232ABC 003,00004,XYZ99445	
 1 2 3 9 0 4	ロット番号送信 無し	■
 9 9 8 0 5 1	保存ロット数を送信する 保存ロット数と保存されている読取データ数をスペースで区切り、5桁の数字で送信します。	
 1 2 3 9 1 1	保存ロットの LIFO (Last In First Out) 送信 有	
 1 2 3 9 0 1	保存ロットの FIFO (First In First Out) 送信 有	■
 1 2 3 9 1 2	1 ロット 送信毎にビypass 出力 有り	
 1 2 3 9 0 2	1 ロット 送信毎にビypass 出力 無し	■
 9 9 8 0 6 3	最終ロットを削除する	
 9 9 8 0 4 9	全保存データ削除	
 9 9 8 0 5 0	全保存データ送信	

10.2 次元コード

10.1. データマトリクス





コマンドバーコード	説明	デフォルト
 2 0 0 5 2 2	データマトリクス(ポジション)読み取り 有り	
 2 0 0 5 1 2	データマトリクス(ラベル)読み取り 有り	
 2 0 0 5 3 2	データマトリクス(ポジション & ラベル)読み取り 有り	
 2 0 0 5 0 2	データマトリクス読み取り 無し	■
 1 0 0 5 1 1	長方形のデータマトリクス読み取り 有り	
 1 0 0 5 0 1	長方形のデータマトリクス読み取り 無し	■
 1 2 5 4 1 7	低コントラストのデータマトリクス読み取り 有り	
 1 2 5 4 0 7	低コントラストのデータマトリクス読み取り 無し	■
 1 2 5 4 1 6	非正方形ラベルのデータマトリクス読み取り 有り	
 1 2 5 4 0 6	非正方形ラベルのデータマトリクス読み取り 無し	■
 1 2 5 4 1 5	ラベル位置ずれ有りのデータマトリクス読み取り 有り	
 1 2 5 4 0 5	ラベル位置ずれ有りのデータマトリクス読み取り 無し	■

 3 2 5 4 0 2	データマトリクス 普通サイズ	■
 3 2 5 4 1 2	データマトリクス 小サイズ	
 3 2 5 4 2 2	データマトリクス 極小サイズ	



※ 下記のパラメータを設定した場合、低品質なデータマトリクスコードの読み取り性能を向上させることができます。
但し、全てのバーコード読み取りに時間を要するようになります。

- 低コントラストのデータマトリクス読み取り 有り
- 非正方形モジュールのデータマトリクス読み取り 有り
- モジュール位置ずれ有りのデータマトリクス読み取り 有り
- データマトリクス 小サイズ
- データマトリクス 極小サイズ

10.2. QR コード

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 2 0 0 6 1 2	QR コード (ホヅ) 読み取り 有り	
 2 0 0 6 2 2	QR コード (ホヅ) 読み取り 有り	
 2 0 0 6 3 2	QR コード (ホヅ & 縦) 読み取り 有り	
 2 0 0 6 0 2	QR コード 読み取り 無し	■

10.3. マキシコード

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 1 4	マキシコード 読み取り 有り	
 1 0 0 6 0 4	マキシコード 読み取り 無し	■





10.4. Aztec コード

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 1 0	Aztec コード (ホジ) 読み取り 有り	
 1 0 0 6 0 0	Aztec コード (ホジ) 読み取り 無し	
 1 0 0 6 1 1	Aztec コード (初) 読み取り 有り	
 1 0 0 6 0 1	Aztec コード (初) 読み取り 無し	
 1 2 4 4 1 6	Aztec コード 連結読み取り 有り アポストロフ付の Aztec コードを読み取ると、リアイメージャは連結 コンボネットの一部として、そのデータをバッファします。全てのコン ボネットが読み取られると、全コンボネットを連結し、読取データ として送信します。コンボネット数は、最大 16 です。	
 1 2 4 4 0 6	Aztec コード 連結読み取り 無し アポストロフ付の場合も、通常の Aztec コードとして読み取り、 アポストロフは読取データの一部として送信されます。	■
 1 2 4 4 0 5	コンボネット読み取りビープ 有り 1 つのコンボネットを読み取る毎に、ビープを鳴動します。スキャン バッファが 1 に設定されている場合は、各コンボネット読み取り後、 トリガを引きなおす必要があります。	■
 1 2 4 4 1 5	コンボネット読み取りビープ 無し コンボネット読み取りビープを無しに設定し、スキャンバッファを最適な 数に増やすことで、全コンボネットの読み取りを 1 度のトリガ操 作で行うことができます。この場合、読み取り完了後、ビープ が 1 度だけ鳴動します。	






※ コード別と Aztec コード 連結読み取りは、同時に使用できません。同時に「有り」にした場合、コード別機能は正しく動作しません。

※ コード別タイムアウトで、同一バーコード内の各コンボネット検出に許可される時間を設定します。

10.5. 郵便コード

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 6 2 1 7	オーストラリア読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 7	オーストラリア読み取り 無し	■
 1 2 6 2 1 6	日本郵便コード (カスタムバーコード) 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 6	日本郵便コード (カスタムバーコード) 無し	■

※ KIX コードの読み取りは、海外向けファームウェアを搭載したリアイメージャのみ対応しています。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 6 2 1 5	KIX コード 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 5	KIX コード 読み取り 無し	■
 1 2 6 2 1 4	PLANET コード 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 4	PLANET コード 読み取り 無し	■
 1 2 6 2 1 3	POSTNET コード 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 3	POSTNET コード 読み取り 無し	■
 1 2 6 2 1 2	POSTNET コード (B&B'フィールドタイプ) 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 2	POSTNET コード (B&B'フィールドタイプ) 読み取り 無し	■
 1 2 6 2 1 1	UPU コード 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 1	UPU コード 読み取り 無し	■
 1 2 6 2 1 0	ロイヤルメール 4 コード 読み取り 有り	
 1 2 6 2 0 0	ロイヤルメール 4 コード 読み取り 無し	■
 1 2 6 4 1 2	オーストラリア郵便コード (ゼロ FCC タイプ) 読み取り 有り	
 1 2 6 4 0 2	オーストラリア郵便コード (ゼロ FCC タイプ) 無し	■

※ KIX コード の読み取りは、海外向けファームウェアを搭載したエリアイメージャのみ対応しています。

10.6. Codablock

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	Codablock 読み取り 有り	
	Codablock 読み取り 無し	■
	CodablockF 読み取り 有り	
	CodablockF 無し	■



10.7. PDF

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	\ を \ として送信	
	\ を \\ として送信	■

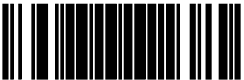
※ KIX コード の読み取りは、海外向けファームウェアを搭載したリアイメージャのみ対応しています。

11. RS232C インターフェイス

11.1. ソフトウェア

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 6 4 1 0	Jv ハンドシェイク 有り ホストは、エリアイメージャからの読取データを受信すると、Jv を送信します。	
 1 2 6 4 0 0	Jv ハンドシェイク 無し	■



11.2. 多機能 USB/IBM® インターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 9 9 9 9 2 3	デュアルインターフェイス デフォルト	■

※ MS1633 は、サポートしていません。



12. その他インターフェイス

12.1. IBM46xx-SIOC RS485 インターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 1 7 2 1 5	PDF 最終ページの 4680 ラベル識別子として 30hex を送信する	
 1 1 7 2 0 5	PDF 最終ページの 4680 ラベル識別子として 00hex を送信する	■


※ MS1633 は、サポートしていません。

12.2. IBM-OEM USB インターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 1 6 3 0 0	PDF 最終ページの 4680 ラベル識別子として 30hex を送信する	
 1 1 6 3 1 0	PDF 最終ページの 4680 ラベル識別子として 00hex を送信する	■





※ MS1633 は、サポートしていません。

12.3. フルスピード USB キーボード インターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 9 9 9 9 4 0	フルスピード USB キーボード インターフェイス デフォルト	

※ MS1633 は、サポートしていません。

12.4. その他インターフェイスオプション

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 2 5 2 1 1	ビープ音/オフ コマンド 有り インターナル USB 及び IBM インターフェイスでのビープ音/オフ コマンドを有りに設定します。	
 1 2 5 2 0 1	ビープ音/オフコマンド 無し	■
 9 9 9 9 5 2	第3世代 IBM46xx デフォルト 最初に、このコマンドバーコードを読み取り、続いて、下記の「IBM 予約コード #2」を読み取ります。	
 3 1 7 2 1 0	IBM 予約コード #2	

※ MS1633 は、サポートしていません。

13. MS7580 Genesis 専用コマンド

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 9 9 8 0 7 1	RS232C インターフェイス設定をリセット	
 9 9 8 0 7 2	USB インターフェイス設定をリセット	
 9 9 8 0 7 3	キーボード インターフェイス設定をリセット	
 9 9 8 0 7 4	RS485 インターフェイス設定をリセット	
 9 9 8 0 8 0	現在接続中のインターフェイス設定をリコール	
 9 9 8 0 7 5	設定を全インターフェイスに適用	
 9 9 8 0 8 1	設定を現在のインターフェイスに適用	
 9 9 8 0 7 6	設定を RS232C インターフェイスに適用	
 9 9 8 0 7 7	設定を USB インターフェイスに適用	
 9 9 8 0 7 8	設定をキーボード インターフェイスに適用	
 9 9 8 0 7 9	設定を RS485 インターフェイスに適用	

※ MS7580 は、インターフェイス毎に独立した設定を保存しておき、それらをいつでもリセットすることができます。

補足 A ASCII コード表

ASCII コード表 (16 進数表記)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	`	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE

ASCII コード表 (10 進数表記)													
	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
0	NUL	LF	DC4	RS	(2	<	F	P	Z	d	n	x
1	SOH	VT	NAK	US)	3	=	G	Q	[e	o	y
2	STX	FF	SYN	SP	*	4	>	H	R	¥	f	p	z
3	ETX	CR	ETB	!	+	5	?	I	S]	g	q	{
4	EOT	SO	CAN	"	,	6	@	J	T	^	h	r	
5	ENQ	SI	EM	#	-	7	A	K	U	_	I	s	}
6	ACK	DLE	SUB	\$.	8	B	L	V	`	j	t	~
7	BEL	DC1	ESC	%	/	9	C	M	W	a	k	u	DLE
8	BS	DC2	FS	&	0	:	D	N	X	b	l	v	
9	HT	DC3	GS	`	1	;	E	O	Y	c	m	w	

補足 A サンプルコード

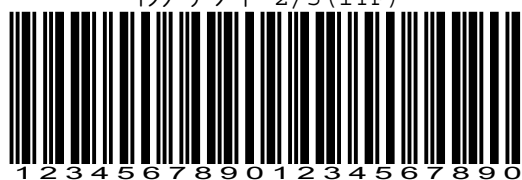
コード 39



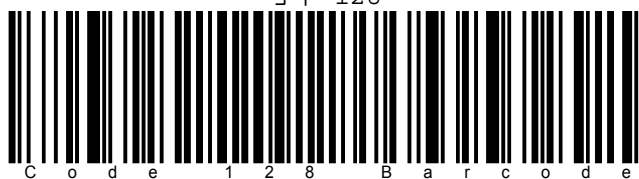
JAN-13



インターピット 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



QR コード



日本郵便コード (カスタムコード)



データマトリクス



修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書					
依頼日					
会社名					
部署名					
担当者					
メールアドレス					
電話番号			F A X 番号		
ご住所					
販売店名			ご購入日		
製品型番（名称）					
製造番号（S/N）					
付属品		ケーブル[]・A C アダプタ			
<p>トラブルの症状を詳しく記入してください。</p> <p>また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 症状発生頻度 : 常に起こる 1日に []回程度 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> インターフェイス : キーボード RS232C USB </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> その他 [] </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 接続ホスト : メーカー [] </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 型番 [] </div> <p>その他、使用状況を記入ください。</p>					
返送先					
見積・請求先					
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。				ご確認印	